

# Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度RI会長

K.R. ラビンドラン



第2780地区  
大磯ロータリークラブ



1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル

TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 河本 親秀

会長エレクト 百瀬 恵美子

幹事 大藤 勉

## 第2359 例会

平成28年1月28 No.27

■司会：田中 敏治

■点鐘：河本 親秀

■合唱：それこそロータリー

◇プログラム・2月7日：第8GIMサンライフガーデン ・2月11日：休会(祝日)

◇出席報告	例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率	◇欠席者(8名)
	2359回	17(15)	8	53.33%	—	—	小林、宮澤、石山、原、太田 笹尾、齋藤正淳、大藤さん
	2357回	17(15)	8	53.33%	—	—	◇メークアップ(0名)

◇ゲスト：高橋昌宏君、富井さん：早稲田大学学生/バングラデシュ国際協力隊 (BICP) 隊員

◇おめでとうございます



誕生日祝：

新宅文雄さん(7/29)

明日で79才になります。毎年歳を取るのがドンドン早くなり、70才になったなあと思っていたらもう

79才です。今のところ健康ですので、色んな面で精一杯やらせて頂きたいと思っています。有り難うございました。

◇会長報告

河本親秀会長

1. 出席率の低いのが大変気になります。会員数は維持されていますが、出席の低いのは辛いです。この1年掛けて出席率が



上がるよう努力したい。

2. 新宅さんが今日79才の誕生日を迎えられました。何時までもお元気でロータリー活動を続けて頂くようお願いいたします。

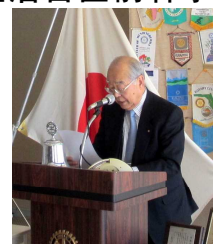
3. 今日は早稲田大学教育学部社会科学科社会科学専修 バングラデシュ国際協力隊 隊員の高橋昌宏君と文学部1年生の富井さんが、昨年秋に第3回現地渡航をされた活動報告をして頂く事になっています。優秀な早稲田大学生がこのような国際的活動をされている事は大変嬉しい事です。

4. ソウル国際大会オプションツアー申込書が参加者宛届いています。どれを選ぶか韓国に詳しい百瀬さんに一任します。

◇幹事報告

井上浩吉直前幹事

1. 例会変更：秦野中RC
2. 2月のロータリーレート：120円
3. テーマ入り名刺作成申し込み書
4. 回覧：ロータリアン誌



## ◇委員会報告：

### ☆スマイルボックス

・河本親秀さん：新宅さんお誕生日おめでとうございます。バングラデシュ国際協力隊 高橋君、富井さん ようこそ。活動報告楽しみにしています。

・井上浩吉さん：新宅さん誕生日おめでとうございます。

・新宅文雄さん：バングラデシュ国際協力隊 高橋昌宏さん、卓話よろしくお願ひ致します。誕生祝ありがとうございます。79になりました。

・田中敏治さん：高橋さん、富井さん、ようこそいらっしやいませ。卓話、宜しくお願ひします。新宅さん、お誕生日おめでとうございます。いつまでも、お元気でいて下さい。

・百瀬恵美子さん：新宅さん誕生日おめでとうございます。バングラデシュ国際協力隊 高橋昌宏さん、富井さんようこそ。

### 百瀬恵美子さん



- ・BICP=Bangladesh International Cooperation Partners of Japan
- ・設立：2014年5月26日
- ・早稲田大学を中心とする学生で青山学院大学、城西大学他の学生で構成。
- ・活動目的
  - ①バングラデシュにおける貧困問題、特にストリート・チルドレン問題を改善して行く事
  - ②本団体の活動を通して、メンバー一人一人が多様な価値観・広い見識・リーダーシップ、そして地球市民としての自覚を持ち、グローバル社会に対して貢献出来る人材となること
  - ③「国際協力」や「社会貢献」の世界に目を向け、具体的に行動する人や組織を国内外で増やし、「持続可能な世界」を実現させること
- ・団体理念=気づき=他者に対する理解と自己に対する自覚=から始まる国際協力・活動内容；
  - ①毎週水曜日18:30~21:45全体会議
  - ②年2回（春、夏）現地渡航
  - ③各種イベントの開催及び参加
  - ④SNS等を通じた情報発信
- 2. バングラデシュについて
- 3. 現地の協力3団体について

## ◇卓話

### ◆◆◆バングラデシュ国際協力隊=BICP 第3回現地渡航報告◆◆◆

#### 高橋、富井BICP隊員



高橋君、富井さん二人で第3回現地渡航報告書とパワーポイントを参照しながら報告が行われました。以下に主なポイントを抜萃しましたが、詳細は添付のパワーポイントのコピーをご覧ください。

#### 富井さん：

1. 団体概要について(スライド9枚)

#### 高橋君：

今回の活動の概略：

カマラプール駅におけるストリート・チルドレン(SC)とその周辺にいる人々の対立関係にフォーカスを当てて活動を行いました。この両者が対話を行う事でお互いが理解し、それがSCが駅に住み易くなる事に繋がるのではないかとこのプロジェクトを組みました。

1. CSC (Conference with Street Children)ストリート・チルドレンとの対話/会議の準備
  - ・先ずSCと対話して彼らの生活の何処が問題なのかをあぶり出して行く。
  - ・特に警察官との対話を通じてCSCへの理解を深めて貰う。
2. CSCの実施：
  - ・目的=ストリートチルドレンと共に路上生活について考え、彼らをAwareness Raisingすること
  - ・ストリートチルドレンと共に路上生活における問題・リスクを考える機会を作る事で、彼らが自身の生活を冷静に見直す機会を持ち、問題意識を持つるようにする。そして、現状を改善しようと強く思

える状態までの意識づけを行うと共に、CSCに向けての動機づけを行う事を目的とする

・ディスカッショントピック→アブドウル・カレク君の事例＝第1回渡航の時、SCであった彼が友達からホテルのキッチンの仕事を紹介され自分で生活出来る収入を得る事が出来るようになった＝をモデルに挙げディスカッション。

①路上暮らしの問題点は何か？報告書32頁：警察官にお金を取り上げられてしまう事。

②問題を解決する為にどうするか？

親が貧しい故に自分が働いてお金を稼がなければならない。お金を稼ぐには勉強しなくてはいけないがそれが出来ない。

③CSCが行われた後、警察とどの様な関係を築きたいか？

よい関係になりたいが、SCを人として扱ってくれない。警官は悪者だ！

④警察との対談

SCの9割の子は帰るところがあるが自分の意思で帰らない。日本の家出の感覚。

カマラプール駅は主要駅であるので厳しく取り締まらなくてはならない

SCの内一人が悪事を働くと付近にいる全員を捕まえざるを得ない

只うざったく思うだけでなく関係を改善したく思っている所がありました。

⑤駅の利用者との対談

⑥活動の感想と反省：

現地での働きに合わせて臨機応変に対応出来た。

話を聞き、プロジェクトの練り直しに役立てる事が出来た。

CSCに対する十分な理解は得られなかった。対象者がCSCに参加しなかった。

3. 今回の現地渡航を振り返って：

このようなプロジェクトを行った経緯というのは、第2回の渡航に発端があります。その時にSCが駅で生活していると警察官とか駅の人に虐められてしまう。そういう状況を改善して欲しいと言う声を聞いたからです。

またSCにもっとこういう問題に積極的に発信する経験を持って欲しいと思った事がこのプロジェクトを計画した理由です。

カンファレンスでは子供を指名して発言させ、次に警察官がそれを理解出来たかどうか確認し、子供

の意見を踏まえ自分の意見を発言して貰う、子供→警察→子供→警察の順々に意見を述べて貰いました。会議終了後、参加者にサインを貰いそれを額縁に入れてカマラプール駅の警察署に飾って貰いました。

4. 反省と課題

反省

- ・時間通りにCSCを開催する事が出来なかった。
- ・参加するSCの選別
- ・ゲスト参加者の私語が目立った。
- ・会議が形式的なものになっていた。
- ・言語面において意思疎通が上手くいかなかった。今後ともこれが最大の課題となると考える。

課題

- ・「相互理解」「関係改善」をどの様に可視化して行くか
- ・どの様にCSCの効果を波及させるか

発表後、会場より、質問やアドバイス、励ましの言葉が相次ぎました。

以上



# 第2360回 例会

平成28年2月7日 No.28

第2360回例会はIM合同例会に振り替え  
(全員登録)

IMのプログラムは下記の通りです。当会報はパネルディスカッション「**米国インターアクターの東日本大震災支援が生み出したもの**」 大磯RC河本親秀プロジェクトリーダー発表のパワーポイント(40枚)コピーと発表原稿をもって代替します。

## 合同例会プログラム

日時：2016年2月7日(日)13:25~

場所：ホテル・サンライフガーデン「江陽」

司会	HC	大畑直裕幹事
開会点鐘	HC	瀬尾光一会長
会長挨拶		同
新会員紹介		6クラブより14名
閉会点鐘	HC	瀬尾光一会長

## IM (Intercity Meeting) プログラム

IM点鐘	平野達雄	ガバナー補佐	国家「君が代」	斉唱	近藤陽一郎	リーダー
Rソング「奉仕の理想」		同				
開会の言葉	IM小玉秀秋	実行委員長	物故会員			
黙祷		平野達雄	ADG			
歓迎のことば		瀬尾光一	HC会長			
来賓紹介		平野達雄	ADG			
参加クラブ紹介		同				
ガバナー挨拶		田中賢三	DG			
ガバナー補佐挨拶		平野達雄	ADG			

## パネルディスカッション

テーマ：世界でよい事をしよう

=認知度の向上と奉仕活動の実践=

「フィリピン・シキホール島での新たな水の供給施設の新設」

平塚湘南 吉野龍彦プロジェクトリーダー

「米国インターアクターの東日本大震災支援が生み出したもの」

大磯 河本親秀プロジェクトリーダー

「タイ歯科診療と口腔衛生教育」=幼児期の歯磨き習慣の定着を目指す活動=

平塚西 久保田守プロジェクトリーダー

それぞれ30分の持ち時間で発表、各プロジェクトについて質問がありました。

ガバナー講評	田中賢三	DG
次期ガバナー紹介	同	
次期ガバナー挨拶	佐野英之	DGE
次期ガバナー補佐紹介	平野達雄	ADG
次期ガバナー補佐挨拶		
次期IMホストクラブ紹介	平野達雄	ADG
次期IMホストクラブ挨拶		
第8G次期クラブ会長・幹事の紹介	平野達雄	ADG
閉会の言葉	大畑直裕	IM副実行委員長
鐘	平野達雄	ADG
諸事お知らせ		

## 懇親会

開会の言葉	平野達雄	ADG
来賓挨拶	田中賢三	DG
アトラクション紹介	伊藤和彦	
乾杯	河本親秀	PDG
アトラクション「手にてつないで」		
閉会のことば	関口俊一	副会長

以上

アトラクションで沖縄民謡「エイサー」の伴奏に乗って会場全員が踊り回り、「手にてつないで」を合唱、和気藹々の内に閉会となりました。